

次世代担う学生に魅力伝える

今年度出前講座スタート

初回は富士教育センター

日 建 協

日本建設産業職員労働
組合協議会(田中宏幸議



長)は3日、今年度の『日

建協出前講座』をスター

トさせた。講座の第1弾

は富士教育訓練センター

(静岡県富士宮市)で行

われている建築施工管理

実習とタイアップして実

施。実習を受講している

関東・関西の3大学で学

ぶ建築系学生約30人が講

座に参加した。

講座では、日建協の中

村浩一政策企画局長が

「建設産業の社会的役割」、

アサヌマユニオンの藤浪

渉本部執行委員長が「建

設産業の魅力やゼネコン

の仕事とやりがい」を講

義。日本建設業連合会の

齊藤克己部長が「建設産

業の実情、今後の展望等」

を説明し、建設志望の学

生達を激励した。

日建協出前講座は全国

の大学での授業の一環と

して06年に開催をスター

トさせており、今年で10

年目。

今年度は今月17日に富

士教育訓練センターの建

築施工管理実習(東洋大、

芝浦工業大、名城大、もの

つくり大の建築系学科が

参加)で引き続き講座を

実施。その後、北海道大な

ど全国各地の計5大学で

開催を予定している。

日建協は「出前講座は

近年、国交省をはじめ地

方自治体や業界団体、企

業などにより様々なかた

ちで開催数が増えている

。建設産業の社会的役

割やゼネコンの仕事とや

りがいなど、生の声を伝

えていきたい」(時枝将

雄政策企画局長)として

いる。